

変貌するカンボジア！

JSC 貿易部ニュース 中国編

毎日暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月のメールマガジン・中国編は、少し趣を変えて東南アジアの国・カンボジアに関する話題です。

親日国とも言われ、物価の安さなどから旅行先としても人気の高いカンボジア。人口は約1,600万人。これに対し、カンボジアを訪れる旅行者は、2018年のデータで620万人と過去最多を記録。

カンボジア政府の統計によると、このうち日本からの旅行者は、国別旅行者数で7番目にランクイン。コロナ前の2019年には23万人の日本人がカンボジアを訪れたそうです。

日本からの旅行者増加のトレンドを受け、カンボジア政府は2020年までに日本人の旅行者を30万人に増やしたい考えでしたが、残念ながら新型コロナの直撃を受けて大きく減少。

しかし、10年前の2009年のカンボジアへの旅行者総数は210万人。これに対し、2018年が620万人ということは、実に3倍に伸びたこととなります。

内訳にも大きな変化が見られます。かつて、カンボジアの旅行産業にとって最大の顧客は隣国のベトナムだったそうです。2011年当時のデータを見ると、カンボジアへの旅行者総数288万人のうち、ベトナムからの旅行者は61万人で全体の20%以上占めていました。

次いで、多かったのは韓国で34万人、全体の11%ほどを占めていました。次が中国からの旅行者で24万人。ちなみに、この時期の日本からの観光客は16万人。このほかでは、米国15万人、ラオス12万人、タイ11万人といった感じだったようです。

しかし、近年カンボジアは中国の影響を受け、大きく変貌しています。このことは観光統計にも如実に表れています。先ほどの2011年の統計では、中国からの旅行者は韓国に

次ぐ第3位で24万人、全体に占める割合は8%ほどでした。

それが、コロナ前の2018年には中国からの旅行者は200万人を超え、全体の30%以上を占めるまでに至っているのです。2011年比では実に10倍近い伸びになっています。



中国語の看板が多いカンボジア・シアヌークビル

中国抜きでは語れないカンボジアの政治・経済

カンボジアへの中国人旅行者が急増するきっかけのひとつとなったのは、2010年に両国間で締結された包括的戦略協定と言われています。この協定を皮切りに中国のカンボジア投資が加速しました。

当時、メディアが報じていたところでは、カンボジア南部のリゾート地シアヌークビルで、中国企業が免税となる経済特区が設けられ、工場・カジノ・ホテルなどが多数建設されました。

また、シアヌークビルから首都プノンペンに伸びる4車線道路の工事も中国からの支援で推進されています。さらに中国政府はカンボジア国内7カ所での水力発電ダムの工事も支援。これらのダムは、完成すればカンボジア全土の電力消費の半分をまかなうことが可能になると言われていました。

こうした動きにともない、中国人労働者の移民が急増。現時点で約25万人の中国人がカンボジアに住んでいると言われていますが、この数はカンボジアで外国籍を持つ移民全体の60%以上を占めるといいます。



建設ラッシュのシアヌークビル

中国式の海外プロジェクトでは、現地労働者を雇うのではなく、中国国内から労働者を連れてくるのが慣例となっています。

この影響からか、首都プノンペンの街を見ていると中国語の看板が氾濫していて、まるで中国にいるかのような錯覚に陥りそうになるくらいです。このような経済関係におけるカンボジアと中国の親密化は、政治面における結びつきの賜物とも言えるのかもしれませんが。

確かに、その親密度合いは、欧米が懸念するほどのもので、東南アジアだけでなく、アジア太平洋など広域に影響を及ぼす可能性も指摘され始めています。

今月の石種情報：「OW-1」（産地：カンボジア）

さて、政治・経済の話はさておきまして、今回ご紹介するのは、ずばりカンボジア産の白御影石です。

以前にもご紹介させていただいておりますが、再度ご案内いたします。丁場が停止して各工場、原石市場の在庫も少なくなってきた「G614」「AG-98」の代替石種としてお薦めをしております。



写真左から OW-1、江西 AG-98

写真左から OW-1、AG-98

サンプル写真を横に並べて比較すると石の粒子はほんの少し粗いですが、実際の石をご覧いただくと均一な目合いで黒玉やムラも少なく、安価でありながら安っぽさを感じさせない石目となっております！

「あまり予算は割けないけれど、スッキリとした綺麗なお墓を作りたい」というお客様にピッタリだと思います。是非、お勧め下さい！

丁場の方も安定していますので、「一度、サンプルを見てみたい」「少し興味あるな～」というお客様がいらっしゃいましたら、お気軽に当社担当営業員にお問い合わせくださいませ。



OW-1 丁場写真

それでは、今月も最後までお読みいただき誠にありがとうございました。

まだまだ猛暑が続くようですが、熱中症にならぬようお体に気を付けてお過ごしください。